

# コンクリート内部探査現場の 最高・最強のパートナー

人間の目でコンクリート内部を見るように

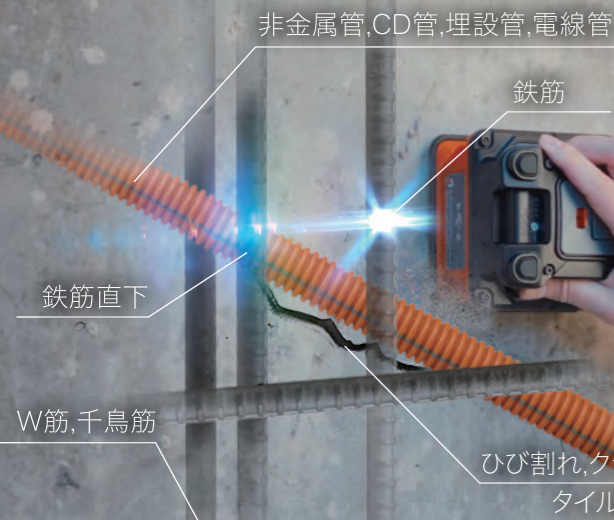
「驚愕の探査能力」と「操作性」を実現  
完全透視を目指した全く新しいコンセプトの製品です

- /// 革新技術 鉄筋直下が見える! 電線管を見逃さない!
- /// 3D探査 グリッドシート不要に
- /// ワイヤレス化

最大深度  
約  
**75cm**  
圧倒的高精度  
電磁波レーダ



コンクリート維持管理の  
問題解決に貢献!



動画はこちら



人間の目でコンクリート内部を見るように

電磁波レーダ コンクリート内部探査機

本体機 狭所用超小型ユニット  
Flex NX NX 25

動画はこちら



詳細はこちら



/// 報告書作成・PCソフト 新! Report Editor Pro



現場では見えなかったものまで見える!  
ソフトの力(機能)で強力サポート!

- 舗装・覆工厚機能: 舗装・覆工厚等波形ピーク自動追従マーク機能
- 舗装・土砂化マップ機能 (土砂化判別機能)
- カスタムグリッド機能 (高性能3D探査機能) 特許第7166037号
- 鉄筋径推定機能 NETIS 特許第7043663号
- 入隅鉄筋推定機能 特許第7327865号
- 自動マーキング機能 EAP: マーキング作業が一瞬で終わる!

機能ピックアップ

下部筋、W筋も特定しやすい!  
比誘電率・深さに合わせて山形波形(カーブ)が変化し、判定が難しい波形や、下部筋の位置特定に活躍!  
カーブフィッティング・ハイパボラアシスト機能

POINT  
深度に合わせてカーブが変化し

入隅のマーキングフォロー  
壁際のような入隅にある鉄筋の位置を推定できる機能  
入隅鉄筋推定機能 特許第7327865号

鉄筋位置かんたんマーキング!  
波形にひとつひとつマーキングをしていく作業を自動化!  
自動マーキング機能 EAP

/// 構成品

本待機 Flex NX、狭所用超小型ユニット NX25(購入した場合)、収納ケース×1、バッテリー×1、取扱説明書

/// 仕様

型式	Flex NX / NX 25
測定方式	電磁波レーダ方式
測定対象物	鉄筋、塩ビ管、電線管、空洞等
周波数	2,500MHz
探査深度	約75cm
データ保存	200GB

※「狭所用超小型ユニット NX15(最大深度100cm)」販売予定

/// オプション

報告書作成ソフト 新!Report Editor Pro(対応中)、エクステンションポール、小型収納ケース

※ NX25オプション「自動マーキングユニット」・「4輪カート」販売予定

電源	バッテリー駆動
寸法	Flex NX : 約253×132×189mm NX 25 : 約112×112×105mm
重量	Flex NX : 2.2kg(バッテリー込み) NX 25 : 0.83kg(バッテリー込み)
ディスプレイ	178 mm (LEDバックライト)
使用温度	-20°C ~ +50°C (-4°F to +122°F)
比誘電率設定	ユーザーが設定可能

電磁波レーダ コンクリート内部探査機

本体機 狭所用超小型ユニット

Flex NX NX 25

鉄筋探査はもちろん、電線管、ガス・水道等の埋設管(CD管・樹脂管等金属以外の管も)、コンクリート厚やアスファルト舗装厚、トンネル覆工厚など、クラックひび割れ空洞の位置を探査可能です!



THE MOST COMPLETE  
CONCRETE SCANNING SYSTEM

THE NEW STANDARD IN CONCRETE SCANNING  
電磁波レーダ コンクリート内部探査機

本体機 狭所用超小型ユニット  
**Flex NX** **NX 25**

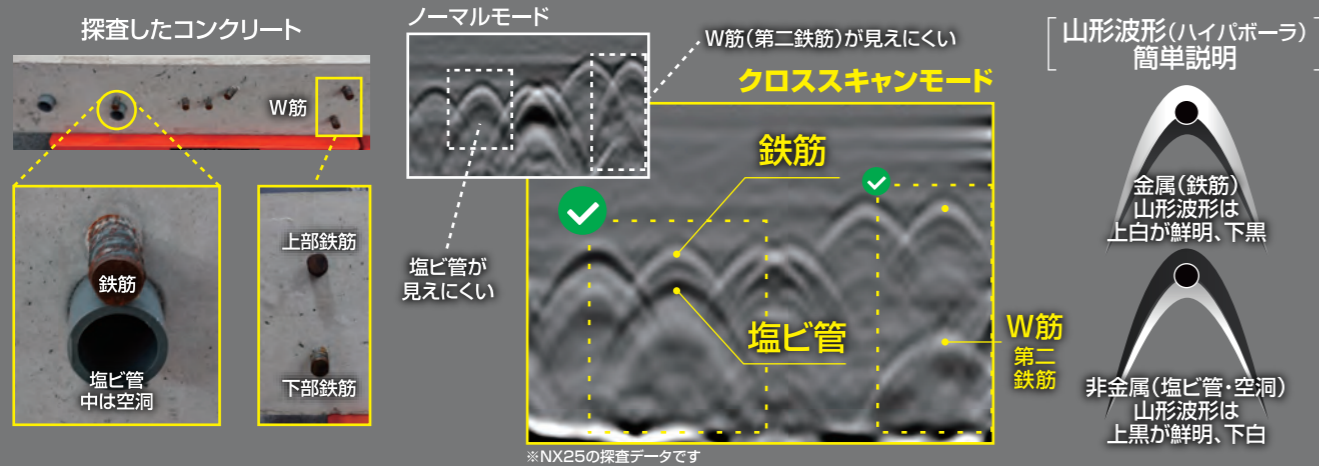
まるで透視! 金属・非金属・配線・空洞・厚みまで見える

GSSI社とKEYTECが開発した高性能電磁波レーダ「ストラクチャスキャン」シリーズからさらに進化。「Flex」シリーズが新登場。使いやすさを追求し、探査結果もさらに高深度、高精度に。従来の電磁波レーダに見えなかったものが見えるように。

革新技術 鉄筋直下が見える! クロススキャンモード標準搭載 / 垂直方向も高分解! **NEW**

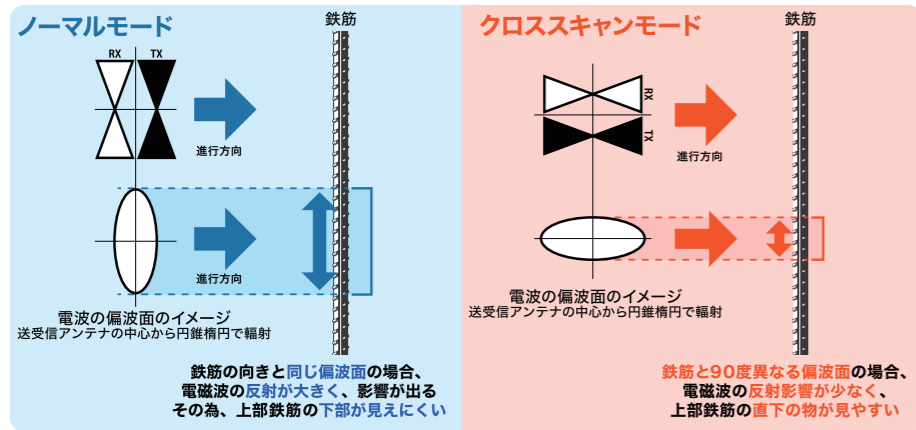
## 「W筋・非金属・厚みが鮮明に見える!」 ノーマルモードとあわせての使用でさらに事故防止に貢献!!

鉄筋の直下など波形が見えづらくなってしまっていた箇所が鮮明に探査できるようになりました!  
鉄筋直下にある第二鉄筋や塩ビ管、CD管、PV管、空洞を見逃しません。



### クロススキャンの原理

クロススキャンモードで測定した場合、送受信アンテナの位置関係から鉄筋反射の影響が小さくなります。その結果、鉄筋奥の非金属に電波が当たりやすくなるため非金属を検知しやすくなったり、上部鉄筋の反射で隠れていた深層部の埋設物を見つけやすくなります。



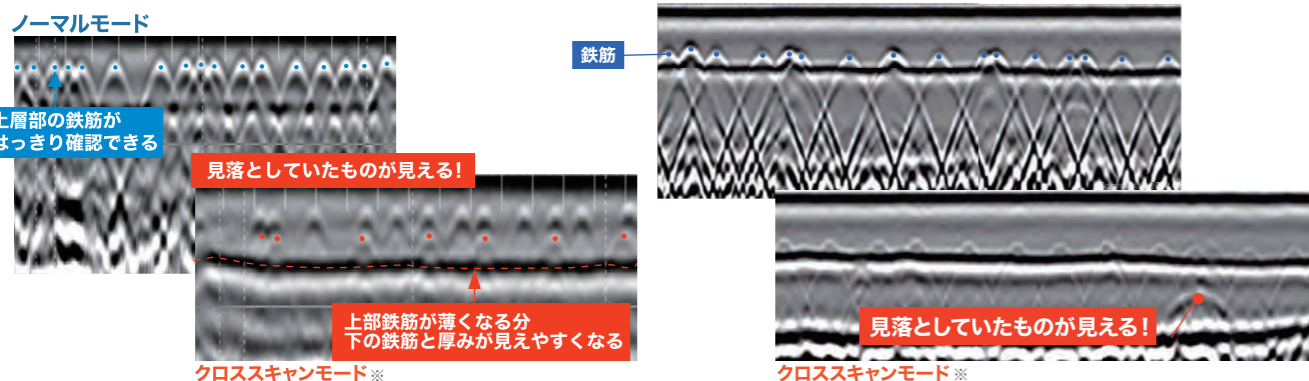
### 2アンテナ搭載



### ノーマル+クロススキャン探査2画面表示



### 測定データ例



※ストラクチャスキャン SIR-EZ XTオプション「キューブアンテナ」の探査データ



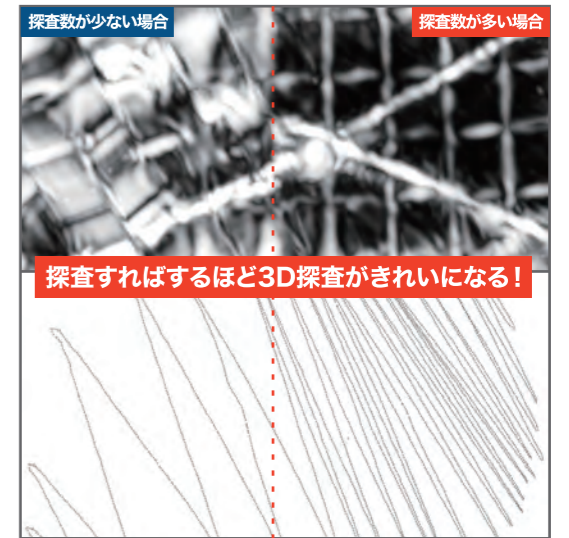
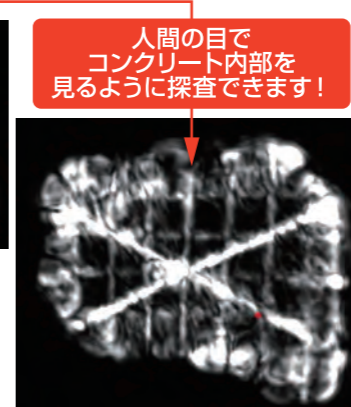
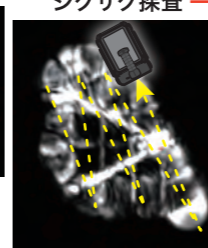
3D探査 グリッドシート不要に / 人間の目でコンクリート内部を見るように・Flexモード **NEW**

### ビジュアルスラム技術採用

グリッドや外部ポジショニングシステムを必要とせずに、画像を生成!  
カメラ(ビジュアルスラム技術)が周囲のエリアマップを生成し、本体の位置を把握します!  
カメラとエンコーダを使用し、位置測位精度を向上させ、3D探査がより柔軟に使えるようになりました!



探査面を  
消しゴムで消すように何度も探査するだけ! /  
ジグザグ探査



ワイヤレス化 / 現場に適した探査方式に変更可能な電磁波レーダ **NEW**

有線ケーブルはもういらない! 無線でも安定探査! 探査時にはネット回線不要! 遠隔地探査でWi-Fi通信回線が切断される心配なし!



従来有線接続だったストラクチャスキャンシリーズですが、Flexシリーズは、ワイヤレス接続を採用! それにより、遠隔探査ができるようになり、探索範囲も大幅に拡大。探査現場・使用ユーザーに適した探査方式に変更することが可能となりました。

Flex NX/NX25にはボタンを2つ搭載、測定On/Offやマーキング等の機能から任意に設定が可能です。ペアリングしたNX25の設定もFlex NX本体の設定画面から切り替えが可能となっています。

Flex NXを中継器とし、NX25のみでの探査も可能です。さらに、腕にスマートフォンなどを装着することによって、その場でデータを確認しながら、片手で探査をすることができます。従来製品でも測定したデータを本体で管理する事は可能でしたが、本製品ではさらにエリア毎に分けることができる仕様となりました。また、現場の写真をスマホからFlex NXに転送して探査データと共に管理することも可能です。